



関東は桜にも葉が目立ってきた4月12日、愛知県犬山市にある犬山寂光院というお寺の施工に行ってきました。

犬山寂光院の開山は654年、大化の改新の頃に孝徳天皇の勅願によって建てられた由緒ある山寺です。別名「もみじでら」。桜も綺麗に咲いていましたが、秋にはそれは見事な紅葉が山を覆うのだそうです。



継鹿尾山という山そのものが寂光院という趣。木曾川のほとり 33 万㎡の敷地内に4つの登録有形文化財があり、今回施工する「薬医門」もそのうちのひとつです。

そもそも、なぜ**エコボロン®PRO** を施工することになったのか。

聞けばここ数年、お寺全体にケブカキクイムシと思われる穿孔被害が拡大しているとのこと。これまでにシロアリ駆除剤や燻蒸処理などを行ってきたけれどどれも効果が一時的で喰い止めるには至らなかった。そこで効果が長い**エコボロン®**を、ということになったそうです。



ここで皆さん気づきませんか。そう、ほう素系が水に溶脱する、ということ。

ほう素系は土台や柱のような「非接地・非曝露」(地面に付けず、外に曝さない)条件下で効果が半永久的に持続します。水に濡れるような箇所へ施工した場合にはその上から撥水処理が必要になります。しかし登録有形文化財なので質感を変えるわけにはいかない。

この点については、彫刻や上裏はよほどのことがなければ濡れないこと、濡れるような箇所はメンテナンス(再施工)していただくこと、をお約束していただき、施工に入りました。

